

# 「柳原番楽」

# と「日輪舎」が新たに

# 金山町指定文化財に指定される

町の文化財として永く保存・活用していかうと、「柳原番楽」と「日輪舎」が新たに町指定文化財に指定されました。



柳原番楽「獅子舞」



柳原番楽「神舞」

## 「柳原番楽」無形民俗文化財

番楽は修験道を基盤に山伏が伝えたという神楽で、柳原番楽は400年以上の歴史があると言われていま

す。柳原地区では番楽が盛んでしたが、戦争を機に衰退し、年配者が細々と続けるだけでした。そんな停滞期を過ごしていた平成12年、地区の有志が集まって柳原番楽保存会が発会しました。それからは、8月17日の馬頭観世音祭礼日に行われる柳原まつりや町主催の産業まつりなど地区内外の行事で番楽を披露しています。柳原番楽保存会では現在、舞台を浄めて神(獅子)を呼ぶ勇壮な「神舞」、終盤に観客の厄を払う「獅子舞」、刀と錫杖を持った3人の若者が勇ましく踊る「三人太刀舞」の3演目を伝承しています。また、28

演目の台詞を記した言立帳が現在も残っていて、演目を増やすべく練習に励んでおり、今後の活躍が期待できます。

## 「日輪舎」有形文化財

柳原地区のカムロファーム内にある、円形で木造の建物が日輪舎です。昭和12年、16〜19歳の青年の満州移住を推進する「満蒙開拓青少年義勇軍」制度が始まり、現水戸市の「日輪兵舎」と呼ばれる宿泊研修所で教育を受けました。カムロファーム内の日輪舎もこの建物の構造を基本

として、将来地元の農林業を営む人材育成を目的として開設した神室修練農場の教室兼寄宿舎として昭和18年に建てられました。カムロファーム内の日輪舎は最大80人を収容することができ、「日本一の日輪兵舎をつくらう」という意気込みを持って、集落の住民総出で建設されたということです。

日輪兵舎は全国に約80カ所確認されています。山形県では4カ所に建設され、カムロファーム内の日輪舎と旧高瀬村(現遊佐町)の西山農場の日輪舎2カ所が現在も昔のままに残っています。この日輪舎に見る円錐形の屋根を持つ木造円形の建物は建築史に残る形状であり、「満蒙開拓青少年義勇軍」という制度があった歴史を物語る貴重な建物です。



円形で木造の建物「日輪舎」



将来地元の農

## 金山町指定文化財 (○数字は指定番号)

- ①旧羽州街道 日当の松並木 (有形・史跡) 昭和63年
- ②戊辰戦争三本松戦跡 (有形・史跡) 平成元年
- ③仙台藩土戊辰戦没之碑・仙台藩土戦没之墓・仙台藩土早坂弥七郎之墓 (有形・史跡) 平成2年
- ④俳諧師 西田羽長坊李英「直筆句画賛」2幅 (有形・典籍) 平成2年
- ⑤俳諧師 西田羽長坊李英「古俳書」20冊 (有形・書籍) 平成2年
- ⑥稲沢番楽 (無形民俗) 平成6年
- ⑦谷口銀山跡 (有形・史跡) 平成11年
- ⑧上中田伊夜彦神社社木 (天然記念物) 平成11年
- ⑨上中田番楽面 8面 (有形民俗) 平成25年
- ⑩柳原番楽 (無形民俗) 平成28年
- ⑪日輪舎 (有形・建造物) 平成28年